

「生涯を賭けて、ただ一つの歌を——それは、はたして愚劣なことであろうか。」

かつて、一人の共産主義者が敗戦前の日本でこう独唱した時、
「歌」はまぎれもなく、芸術を創造し社会を変革する「運動」のことでした。
それは、私達一人一人を、理論／実践の両面で勇敢に、
レッシングの言う「真理の力」への信頼において行動させる、
みずみずしい「革命」へのビジョンにほかなりませんでした。
では、現在の私達にとっての「歌」＝「運動」は、
一体どこにあるのでしょうか。
私達が、私達自身の生涯を賭けて歌い直そうとする「歌」、
——その火種をより深く、より激しく再生させるために、
いかなる原則と条件が、今日必要となるのでしょうか。

第一回岡山人民映画会

「歌」よ生まれよ——目に見えないコレクション

U R L: <http://jinmin2011.movie.cocacn.jp/>

Email: jinmin2011@mbr.nifty.com

会期／2011年11月3日(木)～6日(日)
会場／岡山県立図書館デジタル情報シアター
主催＝ローザ・ルクセンブルク研究会
＋「重力」編集会議
共催＝陽光プロ、TOCHKA UNION